2026 年 10 月 02 日作成　Ver.4

≪情報公開文書≫

くも膜下出血発症に関わるデータベースを用いた 80 歳以上 破裂脳動脈瘤患者の治療成績および予後因子の検討

研究の概要

【背景】

くも膜下出血は脳動脈瘤の破裂によって起こる重篤な病気で、命に関わることも少なくありません。日本は急速に高齢化が進んでおり、80 歳以上の患者さんが破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血で入院するケースが増えています。しかし、非常にご高齢の患者さんに対して、手術（開頭クリッピング術や血管内治療によるコイル塞栓術）を行うべきか、体への負担を考えて手術をせずに経過をみるべきか、その判断の助けとなる情報はまだ十分ではありません。

長崎大学病院と関連施設では、1989 年からくも膜下出血で治療を受けた患者さんの診療情報を蓄積しており、現在は「くも膜下出血発症に関わるデータベース構築」（許可番号：24081502）としてデータベースを構築・管理しています。

【目的】

本研究は、80 歳以上でくも膜下出血を発症した患者さんを対象に、年齢や治療方法の違いによって、治療後の回復の程度や生存状況に差があるかを調べることを目的としています。

【意義】

本研究によって、高齢のくも膜下出血患者さんに対して、どのような場合に手術やカテーテル治療が有効であるかが明らかになることが期待されます。

得られた結果は、患者さん一人ひとりの状態に応じた治療法の選択や、患者さん・ご家族と医療者が治療方針を検討する際の参考になると考えられます。

【方法】

本研究では、くも膜下出血発症に関わるデータベースに登録または統合された 80 歳以上のくも膜下出血患者さんの診療情報を用いて、高齢者に対する治療成績を調査します。80 歳代と 90 歳以上の患者さんの治療結果を比較するとともに、90 歳以上の患者さんでは外科的治療を受けた方と受けなかった方の治療成績を比較し、超高齢者における適切な治療選択に役立つ要因を検討します。

対象となる患者さん

2007 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの間に、くも膜下出血発症に関わるデータベースに登録または統合された、80 歳以上の破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血患者さ

ん。

研究に用いる情報

- 年齢、性別、既往歴などの患者さんの基本情報
- 入院時の症状や重症度に関する情報
- くも膜下出血の原因となった脳動脈瘤の部位や大きさなどの画像検査情報
- 治療内容（手術、カテーテル治療、保存的治療など）
- 治療後の経過や合併症に関する情報

日常生活の自立度を含む機能予後や生存状況などの転帰情報
詳しい内容についてお知りになりたい方は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 10 月９日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない場合は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。ご連絡をいただいた場合、対象者から除外いたします。その場合でも、あなたの今後の治療等に不利益が生じることは一切ありません。

ただし、ご連絡いただくタイミングによっては、既に集計・解析が終わっている等の理由により、対象者から除外できない場合があります。あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2029 年 12 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院　脳神経外科 氏名：日宇　健 住所：長崎県　長崎市　坂本１－7－1 電話：095（819）7375
情報の管理責任者	長崎大学病院　病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止】

長崎大学病院　脳神経外科　日宇　健
〒852－8501　長崎市坂本１丁目７番１号
電話：095（819）7375　　FAX　095（819）7378

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200
受付時間　　：月～金　８：30～17：00（祝・祭日を除く）

「くも膜下出血発症に関わるデータベース構築」の情報提供機関

1. 長崎大学病院
2. 国立病院機構長崎医療センター
3. 長崎労災病院
4. 長崎県島原病院
5. 十善会病院
6. 石坂脳神経外科
7. 公立みつぎ総合病院
8. 佐世保市立総合病院
9. 宮崎病院
10. 小波瀬病院
11. 福岡青洲会病院
12. 周南記念病院
13. 安永脳神経外科
14. 佐世保中央病院
15. 森の木脳神経外科
16. 長崎川棚医療センター
17. 済生会長崎病院
18. 長崎みなとメディカルセンター
19. 長崎北徳洲会病院